

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

魚類に対して被害のあるコクロディニウム・ポリクリコイデス（香川県の場合：注意報100細胞/ml、警報1,000細胞/ml）が最大で26細胞/ml確認、カレニア・パピリオナセアが最大で5細胞/ml確認されました。また、魚類を弱らせる可能性のあるディクチオカ・スペキュルムが最大で10細胞/ml、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータムが最大で16細胞/ml確認されました。

今後も水色等には十分注意し、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

調査時間 (9:00-11:00) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス *1	カレニア・ パピリオナセア *1	ディクチオカ・ スペキュルム	ギムノディニウム・ カテナータム *2
シラハエ 別図① 透明度 9m	0	—	—	—	0	2	1	0
	5	—	—	—	4	1	1	0
	10	—	—	—	0	5	0	0
ヒロウラ 別図② 透明度 7m	0	23.8	33.8	6.26	0	0	0	0
	5	23.3	34.0	6.12	0	2	4	0
	10	22.3	34.1	6.18	26	2	0	0
一切田 別図③ 透明度 7m	0	24.4	33.8	6.50	0	0	0	0
	5	23.3	34.1	6.57	0	2	3	16
	10	22.3	34.2	6.46	26	2	0	0
宿毛湾中央 別図④ 透明度 8m	0	24.3	33.8	6.61	0	2	4	0
	5	23.2	33.9	6.15	0	0	4	0
	10	22.1	34.1	6.31	0	1	2	0
藻津 別図⑤ 透明度 8m	0	—	—	—	0	0	10	0
	5	—	—	—	0	3	3	0
	10	—	—	—	0	3	0	0

*1：魚類に対して被害のある種

*2：麻痺性貝毒の原因種

<別図>

